



周延策

新

西園寺時政

~14  
3689  
31

~14  
3689  
2

~14  
3689  
1



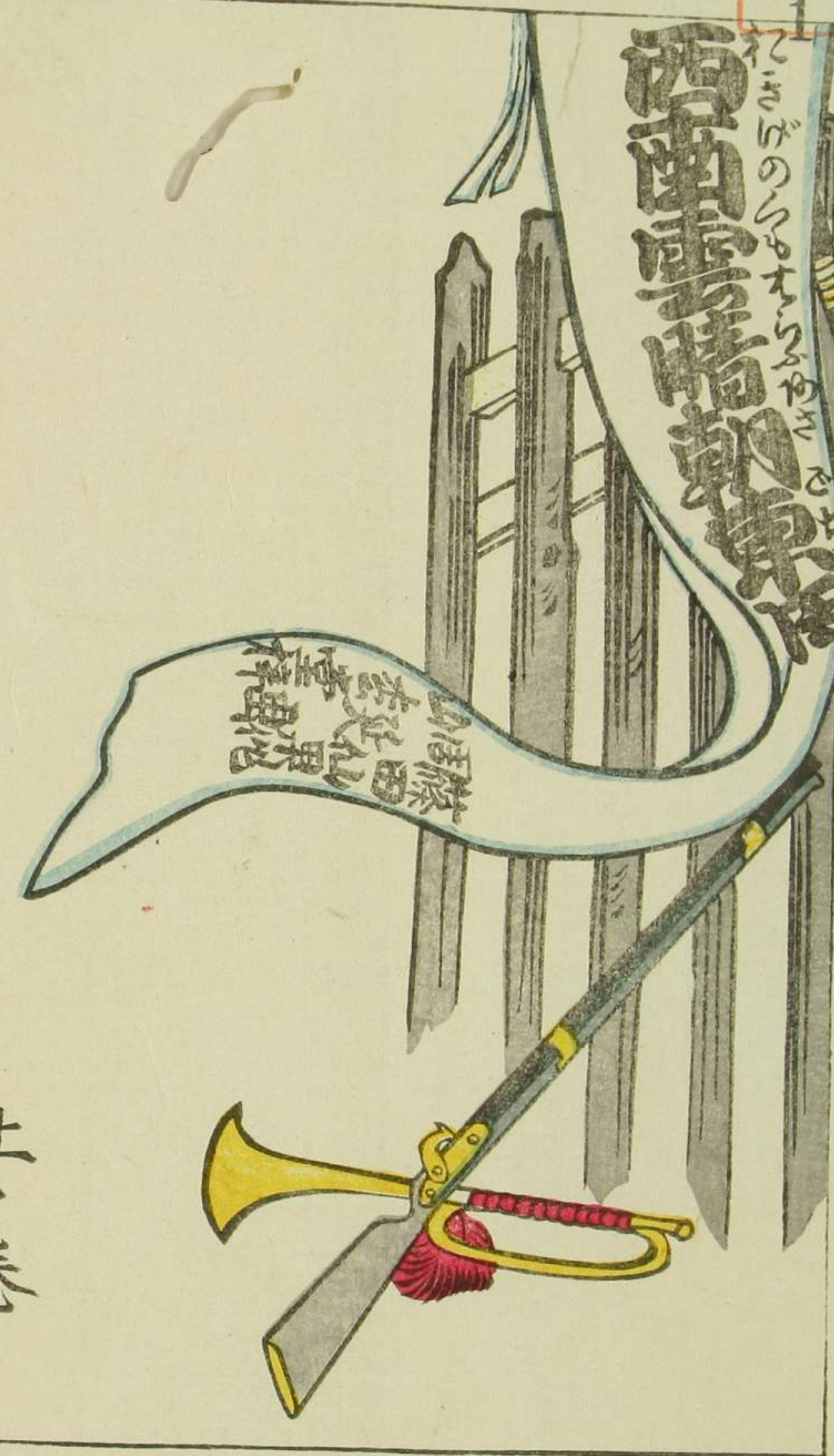


西園寺公兼

~14  
3689  
1



西南雲晴朝東



上ノ巻



西<sup>あき</sup>南<sup>げの</sup>雲<sup>くも</sup>晴<sup>はら</sup>朝<sup>あさ</sup>東<sup>あち</sup>風<sup>かぜ</sup>

劇場三味の鼻祖たりし出雲のお國が念佛踊り骨董集ふ古体と残せしより時々の沿革の芝居年代記  
不明細るるも維新文明の御世に際し其面目と一洗  
狂言の筋より勸懲の意をつくり教導の姿を  
補ふ不足より時々新富坐ふおいて西南事件の  
顛末残例の河竹其水翁が綴つて一日の狂言  
と為せし合巻三冊として同好の幼童衆よ  
覽せ申すとのり

二在笠亭主人

藤田仙果



















「たんとつるまをのらふん  
いぢかんをむくもふんい  
とけしこうねてのぢかん  
あつるふらまふん  
氏か那野りやうらうせう  
しそいとめられ



「あつるまをのらふん  
いぢかんをむくもふんい  
とけしこうねてのぢかん  
あつるふらまふん  
氏か那野りやうらうせう  
しそいとめられ

らんめい  
漢ノ



徒町二百四十一番地

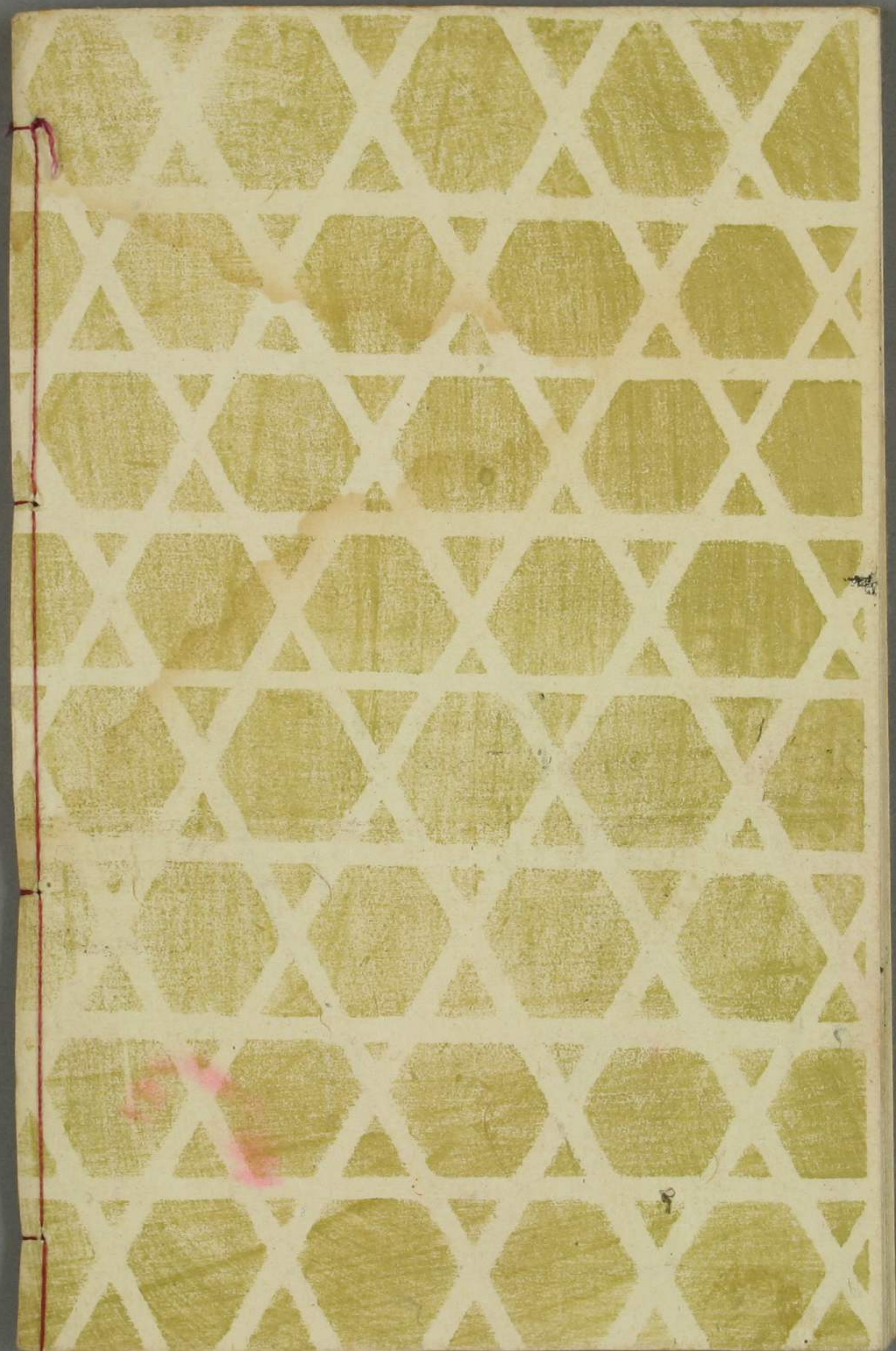
編集者 篠田久治郎



吉堅丁五十六番地

出版人 山村金三郎

明治十一年三月 日御届ケ





14  
3689  
2



















つぎ一がこあてり  
ひこりうあひだせひ  
とあそひあふあふあ  
まんこひこまきりま  
しうあひひが  
とりおとせーてろ  
あうおまろとめを  
つげりさうらのの  
ゆめと



○name  
ひこりうあひだせひ  
とあそひあふあふあ  
まんこひこまきりま  
しうあひひが  
とりおとせーてろ  
あうおまろとめを  
つげりさうらのの  
ゆめと

徒町二百四十一番地  
編集者 篠田久治郎

吉堅丁五十六番地  
出版人 山村金三郎

明治十一年三月 日御届ケ





周延策

3689  
314





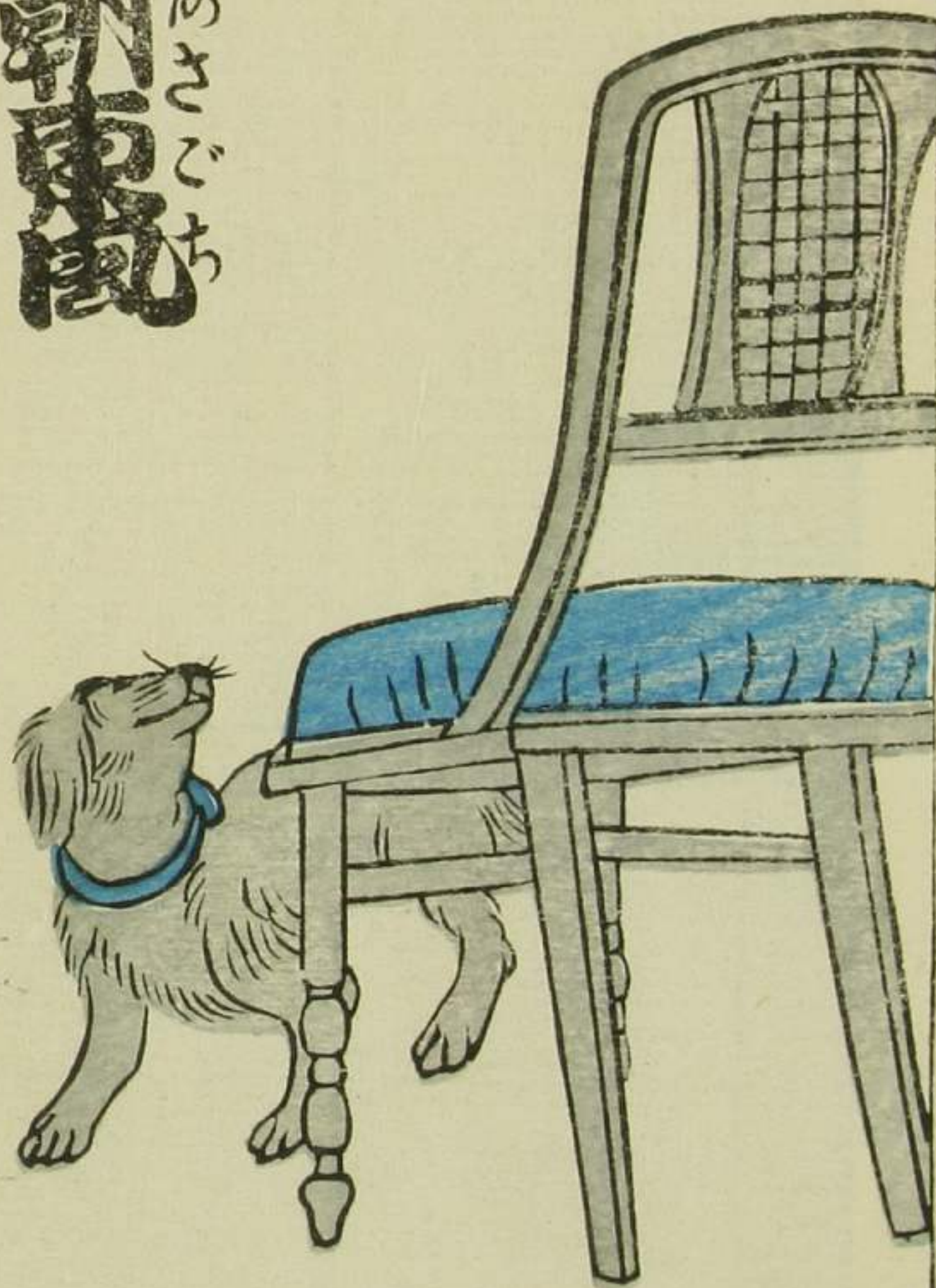
特  
14  
3689  
3



下

西浦雲晴朝威

ねまぎのらもをりかめさごち



山 藤田仙果地  
周 延由  
李 孝梓

下ノ卷

西浦の巻

ひろがのちあのか  
ういあろくき  
ぞい。

のま

のま

のま

のま

のま

のま

のま

のま

のま

のま

のま











「いそぎびがさ  
かびせもまみろも  
あやみののまみろ  
あやみらん」

同く神のまみろ  
あやみらん

あやみらん  
あやみらん

# 少年隊



少年隊  
あやみらん  
あやみらん







一、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、



篠田仙果綴  


楊洲齋岡延喜

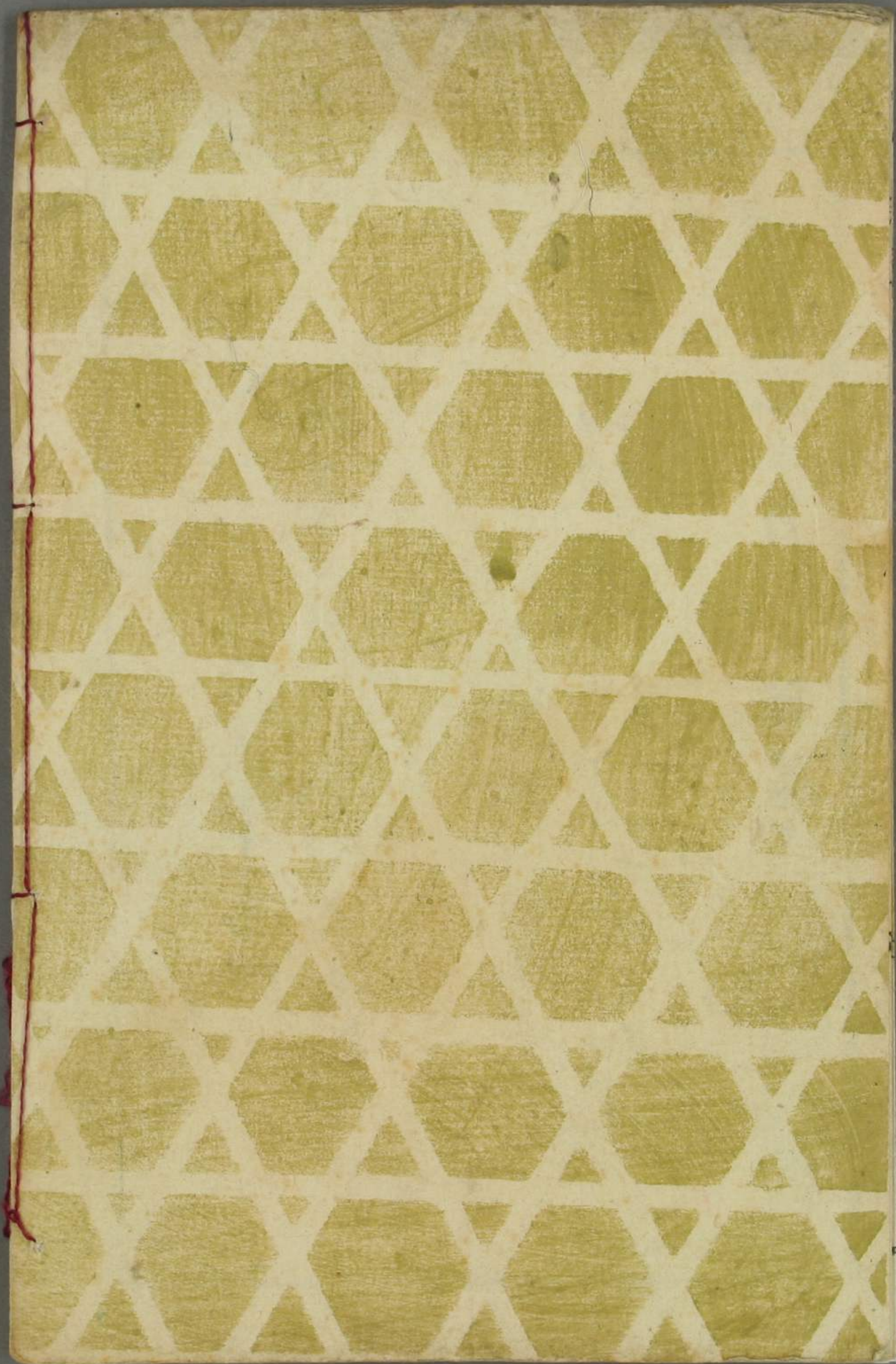
徒町二百四十一番地

編集者 篠田久治郎

吉堅丁五十六番地

出版人 山村金三郎

明治十一年三月 日御届々



西遊記

丸ノ目書

藤田仙果作  
周延画

山松堂

14  
3689  
173